

清水, 川村, 前川, 杉山

諸先生を送る

教養部長 滝 正 男

定年退職されました清水秀暢先生（英語）、川村正雄先生（経済学）、前川知賢先生（倫理学）、杉山卓世先生（生物学）の四名の先生方に対する特集号はすでに出さるべきであったが、諸事情により今日まで延引し誠に申訳ないと思っております。

此の度、退職記念特集号の発刊にあたって、四先生方に対しご在職中のご功労に幾分かでも報いることができれば望外の喜びとするところであります。

清水、前川、杉山の三先生はご退職後も引続き非常勤講師として、多年にわたるご研究、貴重なるご経験を生かし、お元気で学生の教育に当って戴いており、誠に有難くご同慶に堪えないところであります。

しかしながら、只お一人在職中あれほどお元気であった川村先生が、ご勇退後半歳を経ぬ7月過ぎ炎暑の中を忽然として亡くなられ、幽命境を異にされたことは何とも言えぬ痛恨の極みであります。

教養部で共に籍を置き、系列は違っていても親しく公私にわたりご教導賜わった先生方が規程とは申せ籍を離れられることは誠に惜別の情を禁じ得ません。

多年にわたり教育、研究にそれぞれ立派な業績を挙げられ、本学発展のため、また教養部のためにご尽力下さった四名の先生方に対し、教養部を代表し、心からなる感謝とお礼を申しあげる次第であります。

清水秀暢先生（英語）は、昭和43年4月教養部非常勤講師になられ、昭和48年助教授に、昭和52年3月にご定年になられ今日に至っておりますが、物静かで温厚篤実な学究であられ、教育熱心、学生の信望も厚く、特に英米詩についてのご造詣も深く、後進教員一同が等しく敬服している次第であります。

川村正雄先生（経済学）は時には英語をもご担当になって戴いておりま

した。昭和38年4月1日講師として、昭和42年5月1日助教授に昇格、昭和53年3月31日ご退職になられました。先生は暇さえあれば、独り静かに読書と研究に精魂を傾けられ、本の虫という言葉が適切であろうと思われる方でした。同僚の先生方が教授にと進言されても全く恬淡としておられ一向に省みられなかった先生でありました。頑健とは申せなかったが、それでもご在職中は病気のお噂など耳にしたことはなかった先生が、ご退職後間もない7月心筋梗塞という突然の病の侵すところとなり、本当に呆気なく此の世を去られ、人生の無情を痛感した次第で、先生の真摯な講義を若い学生に受講させ得なかったことは、かえすがえすも残念であります。ご冥福を心からお祈り申し上げます。

前川知賢先生（倫理学）は、昭和40年4月1日、本学に教授としてご着任になられ、昭和53年3月31日ご定年になられましたが、先生は自分の専門外の分野においても実に広範囲にわたり活躍され、何をやられても行くとして可ならざるはなく博学の先生で、多くの論著を物にされ、どこにあただけの精力があるのかと驚嘆させられました。ウェイト・リフテングの部長をもされておりました。また、教授会にもよく発言され稚気誠に愛すべき独得の雰囲気をもっておられ名物教授の一人でありました。

杉山卓世先生（生物学）は昭和42年4月1日、教養部助教授としてご勤務になり、昭和50年4月1日教授。昭和53年3月31日ご退職になられました。ご在職中は一時図書館勤務もされ、また司書教育にも心血を注がれ、センター主任などもご兼務されました。教職に就かれるまでは愛知県農林部などにおられ、行政面での輝かしい業績を挙げられ、本学でもご専門の生物学のほか、農業協同組合、農業経営に関するご研究も多く、誠実な人柄であり、教授会などでもときどきウイットに富むいろいろな示唆を与えられ、なにかと啓蒙して戴きました。

以上四名の方々のうち既に記述しましたように三名の先生方には引き続きご協力賜わっておりますが、今後とも相変らずご健勝で一層のご自愛の程を祈念申しあげ送辞と致します。